

田端由貴菜さん インターハイ出場！

「平成19年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）」のソフトテニスが、8月1日から4日まで、佐賀県の嬉野市みゆきテニスコートほかで行われ、田端由貴菜さん（平倉・高崎健康福祉大学高崎高等学校3年生）が、群馬県代表として「女子個人戦・ダブルス」に出場されました。試合は、一回戦で青森県代表と対戦し、惜しくも敗れてしまいました。田端さんは、「インターハイという大舞台で緊張しました。ペアと気持ちを一つに戦い、試合を楽しむことができました。思うような結果は残せませんでしたが、良い経験をすることができました。この経験をこれからは生かし、頑張っていきたいです」と話してくれました。



笠原歩美さん インターハイ準優勝！

「平成19年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）」の柔道が、8月8日から12日まで佐賀県の基山町総合体育館で行われ、笠原歩美さん（下郷・東京農業大学第三高等学校3年生）が、「女子個人48kg級」に出場されました。笠原さんは、トーナメントを順調に勝ち抜き、決勝戦では東京都代表に惜しくも敗れてしまいましたが、見事、準優勝に輝きました。



笠原さんは、「私がここまでこられたのは、多くの方々の応援と支えがあったからです。これからの抱負は、練習を重ねて日本一になることです。今後も応援よろしくをお願いします」と話してくれました。

オブスマクラブスポーツ少年団 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会ベスト8入り！

「第29回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会」が、8月6日から10日まで、北海道の札幌ドーム、つどーむ、太陽球場（いずれも札幌市内）で行われ、県大会、関東大会を破竹の勢いで勝ち進んだオブスマクラブスポーツ少年団（新井導代表）が出場しました。

1回戦の北海道「神楽少年野球団」には、逆転で勝利し、ベスト8入りしたものの、2回戦で惜しくも敗れてしまいました。木村将悟主将（牟礼・男衾小学校6年生）は、「全国から選ばれたチームはどこもレベルが高く、その中で地元の北海道に勝ち、ベスト8に残ることが出来ました。4日間にわたって全国の人たちと一緒に過ごし、いろいろな面でよい経験になりました」と話してくれました。



杉田綾音さん 全国小学生学年別柔道大会出場！

平成19年度第4回全国小学生学年別柔道大会が、8月19日に愛媛県武道館で行われ、杉田綾音さん（下郷・男衾柔道クラブスポーツ少年団・男衾小学校6年生）が、県大会で優勝し、見事出場されました。杉田さんは、「全国大会に出場することになって、たくさんの方から応援をいただきありがとうございました。決勝トーナメントには残れませんでした。2試合目で一本勝ちができて良かったです。これからも全国制覇をめざしてがんばりたいです」と話してくれました。



人権擁護委員の皆さん 街頭啓発活動を実施

8月4日の寄居玉淀水天宮祭にあわせ、寄居駅南口において、人権擁護委員の皆さんが人権啓発うちわの配布を行いました。

うちわを配りながら、平成19年度啓発活動の重点目標である「思いやりの心・かけがえのない命を大切に」を呼びかけました。

なお、人権擁護委員は、毎月2回開催される「心配ごと相談」の相談担当者になっています。お気軽にご相談ください。



「山仕事教室と川遊び」で 里山の魅力を満喫！

町では、7月28日に里山体験事業「山仕事教室と川遊び」を実施しました。

中間平緑地公園では、埼玉県中央部森林組合の職員を講師に迎え、小学生と保護者30数名の参加者に下刈り体験をしていただきました。子どもたちは「草刈って面白い!」、「草のいいにおいがするね!」などと、感想を漏らしていました。

その後、風布川に移動し、ニジマスのつかみどりを行いました。移動の途中、ヘビに遭遇するなど、普段の生活とは異なる体験の連続に子どもたちの驚きの声が上がっていました。子どもたちにとっては、夏休みの特別な体験として、思い出を日記に記せたのではないでしょうか。



いつも献血ありがとうございます！ 株式会社アタゴ 知事から感謝状

7月24日埼玉会館で開催された「第38回愛の血液助け合いの集い」において、株式会社アタゴに埼玉県知事から感謝状が贈呈されました。

株式会社アタゴでは、年2回、社員のほか、地域住民を対象に献血場所を提供していただいています。献血は、いのちのボランティアです。患者さんのいのちを守るのには、献血から生まれる愛の贈り物。会社の皆さんのやさしい気持ちと献血に対するご理解、ご協力に対し感謝状が贈られました。



鹿島悠里江さん、白井秀美さん、 全国高等学校少林寺拳法大会出場！

「第34回全国高等学校少林寺拳法大会」が、7月27日から29日まで福岡県の北九州市立総合体育館で行われました。

県立小川高等学校は、10年連続全国大会に出場していますが、今年の大会には、鹿島悠里江さん（本町）、白井秀美さん（用土4）が出場されました。

女子団体演武では、はじめて予選を通過し、全国12位という結果となりました。

鹿島さんは、「高校での最後の大会ということで、一人ひとりがいろいろな思いを抱えながら全国大会に挑みました。目標であった予選通過が果たせ、最後にみんなで一つになって後輩達につなぐ事が出来て良かったです」白井さんは、「予選はとでもリラックスしていて、良い精神状態で臨むことができました。しかし、本選では緊張してしまい、演武も固く思い通りに動けませんでした」と話してくれました。



写真前：白井さん
後列左：鹿島さん